

専門教育科目

演習科目

授業科目名	手話入門	科目コード	配当年次	単位
担当教員	谷 千春・北田 美千代	GA48	1	2
科目の概要				
<p>聴覚障害について、医学、教育、福祉、心理など様々な角度から掘り下げ、理解を深める。聴覚障がい者とのコミュニケーション手段である、手話、指文字（濁音、半濁音、促音・拗音、長音）、読唇、筆談、空書、補聴器について学ぶ。手話の実技に関しては、おおむね手話技能検定試験5級程度（あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる）の単語と例文が理解できるところまでを目指す。</p>				
科目の到達目標				
<p>①聴覚障害のメカニズムや障害の等級、聴力レベルなどについて理解することができる。 ②手話・指文字などを用いたコミュニケーションを実践することができる。</p>				
テキスト	<p>『ゼロからわかる手話入門』谷 千春(監),主婦の友社,2011年 『はじめての手話』谷 千春,産業能率大学,2019年</p>			
テキストの読み方				
<p>①『ゼロからわかる手話入門』では、様々な手話のフレーズや単語を写真付きで確認することができる。単に読むだけでなく、繰り返し手話の動作をしてみることも重要である。 ②『はじめての手話』では、手話や聴覚障害についての基礎知識を学ぶことができる。これらの基礎知識と手話のフレーズ・単語を有機的に結び付けることで、学習を深めて欲しい。</p>				
単位修得の方法				
<p>①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。 または、 ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。</p>				